

共生・公正・創造



# ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合  
 〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号  
 TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290  
 発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

## “テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実”

『週刊現代 - JR東日本革マル浸透問題告発 - 』 連載第20回

### 操作妨害を繰り返すコウノトリには「雛」がいた！

『週刊現代』が、JR東日本の革マル浸透問題を連載記事で告発した。本紙は驚くべきこの事実をシリーズで紹介する。（JR連合民主化闘争情報号外より一部抜粋）

< 週刊現代2006年12月4日発売号 >

#### JR東日本に天下った警察官OBは、革マル派のガードマンに成り下がった

JR東日本には、柴田氏（JR東日本初代監査役・元警察庁警備局長）の“懐刀”といわれる警視庁OBがいる。現在も『副課長』の肩書で本社総務部に勤務している木下紘氏（63歳）だ。「木下氏は長く公安三課に勤務し、右翼団体を担当していました。しかし97年、オウム真理教の教祖だった麻原彰晃の逮捕直後の写真を週刊誌に流したとして、懲戒処分を受け、調布署に左遷されたのです。そして03年、定年まで1年を残して警部補で退職し、JR東日本に天下ったのです」（警視庁人事一課関係者）

そしてこの木下氏をJR東日本に入れたのが、ほかでもない柴田氏だった。「木下氏の妻はかつて柴田氏だけでなく、歴代警備局長の秘書も務めてきたベテラン職員。警備局長に集約される全国の警備・公安情報にアクセスできる立場にあった。60歳の定年を迎えた平成16年以降も、警察庁の『再任用』制度で残り、今なお警備企画課に勤務している。実は警察庁、警視庁の上層部は、彼女こそが、柴田氏の最大の“エス”（スパイ）ではないかという疑念を持っている。そしてこれが事実ならば、革マル派に関する情報だけでなく、日本の公安警察の中核の情報が、柴田氏を通じ、JR革マル派に流れていたことになる...」（現職警察庁幹部）

「柴田氏の在任中、JR東日本では、受け入れた警察OBの面倒を、70歳まで見ることにしたのです。しかし、こんなことをJR経営陣が松崎の許しを得ず、決められるはずがない。松崎は『東労組に一切、口出ししないこと』を条件に、JR東日本が、警察OBを70歳まで雇用することを許可した。だから、JR東日本に天下った警察OBは、東労組組合員がどんな違法行為をしようとも、見てみぬふりをしているのです。それどころか、柴田氏に倣って、JR革マル派に関する捜査情報を入手するなど、完全に『JR革マル派のガードマン』と化してしまいました」（JR東日本関係者）

「テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実 JR東日本に天下った警察官十九人実名リスト」と題するこの記事は、「JR革マル派のガードマン」に成り下がった警察OBや捜査情報を流し続ける現職幹部の背信行為を暴いている。

## 一度天下れば、70歳までは安泰というJR東日本？